

研究課題番号	S-16-3
研究課題名	アジアにおける資源環境制約下のニーズ充足を目指す充足性アプローチへの政策転換
研究実施期間	平成 28 年度～令和 2 年度
研究機関名	(公財)地球環境戦略研究機関
研究代表者名	堀田 康彦

1. 委員の指摘及び提言概要

充足性アプローチの解析とビジョン創発型政策形成の提案に挑戦しており、期待の成果を上げている。個々の研究はそれぞれ興味深い結果を出されている。また、国際的な発信も十分に行っておられる。

ただし、ここの研究が充足性アプローチへの政策転換にどう結び付くのかについて、具体的な提言を期待したい。グローバル目標実現へ向けた政策介入の効果分析結果が政策介入の限界を示せたこと、日本とベトナムにおける充足度達成条件に関する調査結果を示せたことは、評価できる。充足性に向けた消費行動選択の産業への影響調査結果も評価できる。この調査結果を踏まえて、さらに中間団体～個人レベルでのウェル・ビーイングの評価を期待したい。3つのサブテーマの関係が良く分からなかった。ややそれぞれがエビデンスベースアプローチの範囲の中で行われている印象が強い。

2. 採点結果

評価ランク：A